

添付資料 3

国内の地表水を水源とする 4 浄水場の紫外線吸光度データ

1. Kis 浄水場

E260 データ： 50mm セルを使用、手分析値

この浄水場原水の紫外吸光度は高くはない。人口密集地帯である大都市近郊河川の河口近くの水質を反映した事例。なお、調整池は一般の浄水池にほぼ相当する。

2. Chk 浄水場

UV260 データ： 50mm セルを使用、手分析値

有機物濃度の高い水源の例。オゾン・生物活性炭による高度処理を実施している。

なお、2014 年は工事が行われた関係で、一部の連続計器データが収集できなかった。

3. Ak 浄水場

紫外線吸光度のデータ：測定波長は 254 nm、50mm セルを使用、手分析値

腐植質が多く、流域の農畜産業や都市排水等の影響を受けた河川を水源とする事例。夏季には湖沼等におけるプランクトンの発生の影響も受け、異臭味には粉末活性炭で対応している。

4. Khr 浄水場

E260： 50mm セル使用、手分析値 (0.45 μ m メンブランフィルターによる、ろ過後の測定値)

色度：積分球式光電高度計による測定値 (測定前のろ過は実施せずそのまま測定)

濁度：積分球式光電高度計による測定値

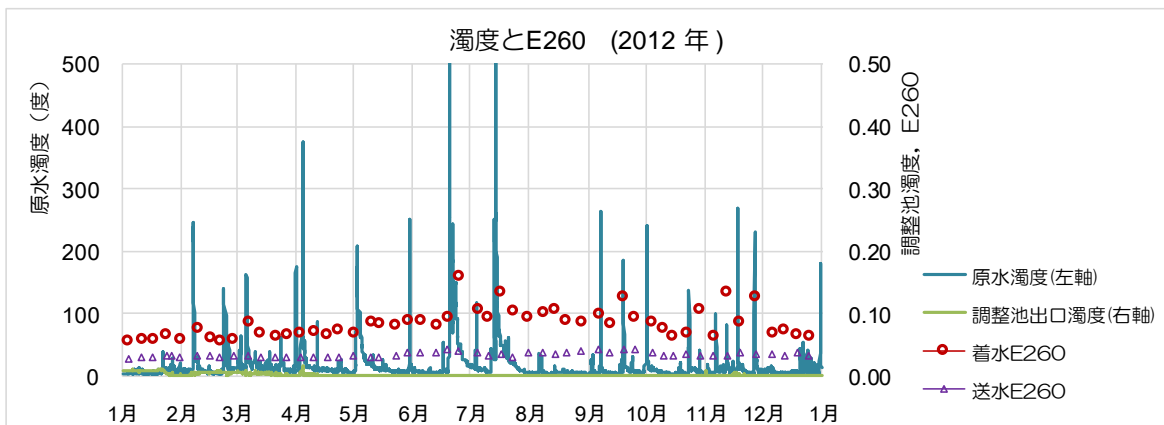
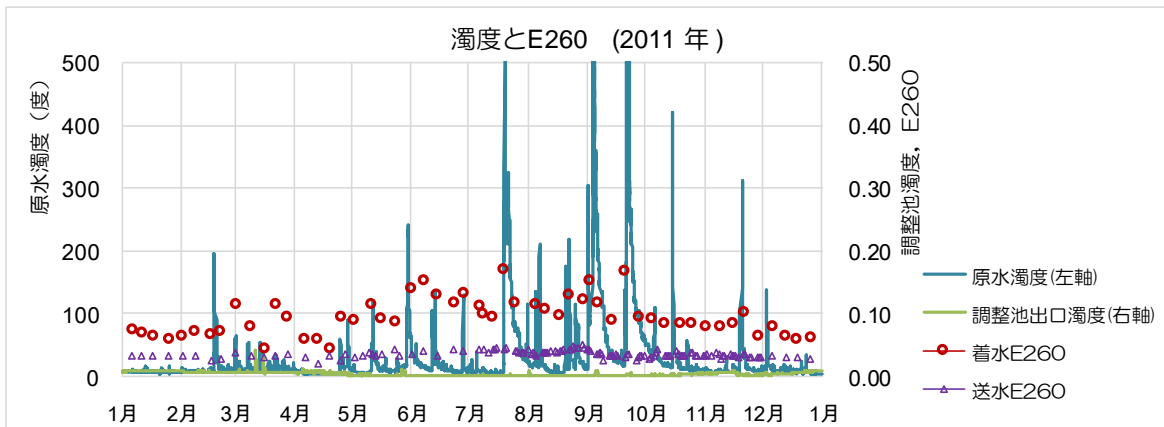
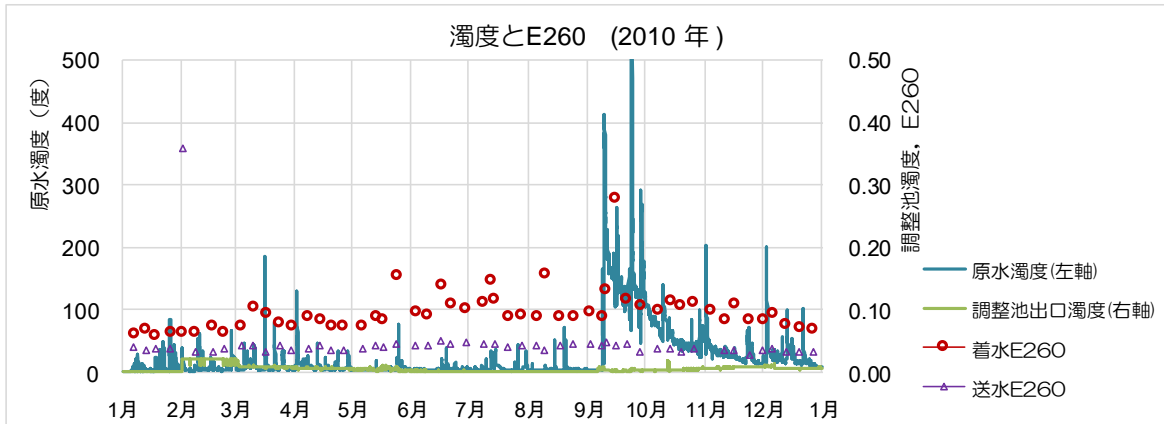
TOC：ガス透過膜式導電率測定法による測定値

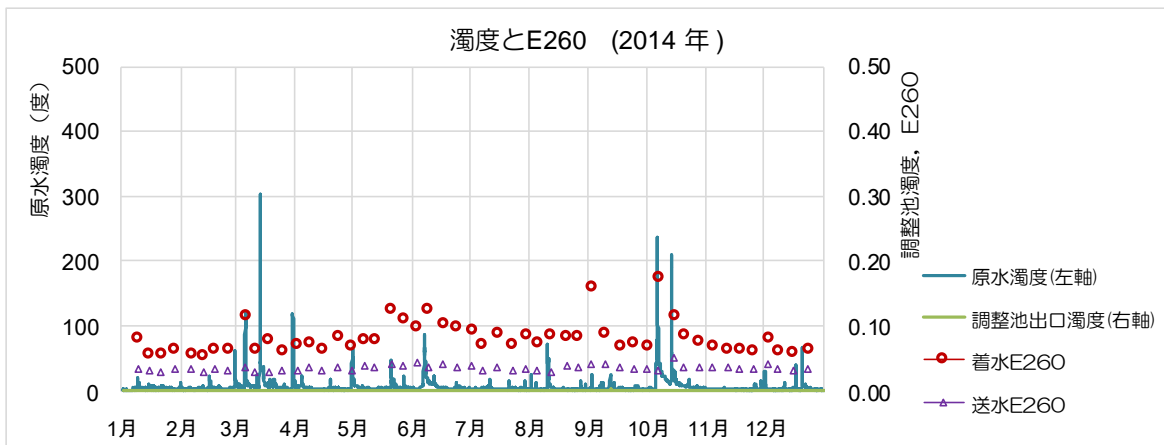
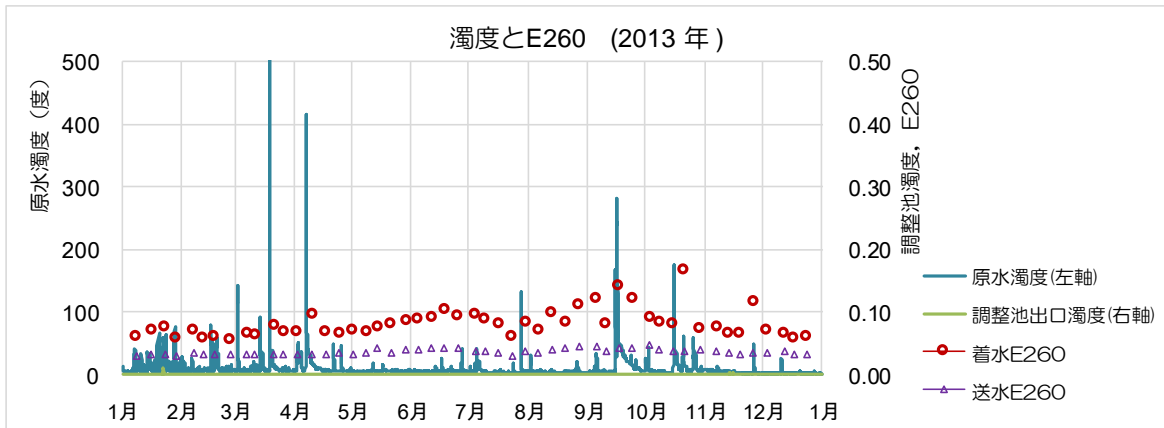
腐植質を多く含み、濁度と色度の高い原水を処理している事例。水源河川の流域には酪農地帯も存在する。粒状活性炭による処理を行っている。

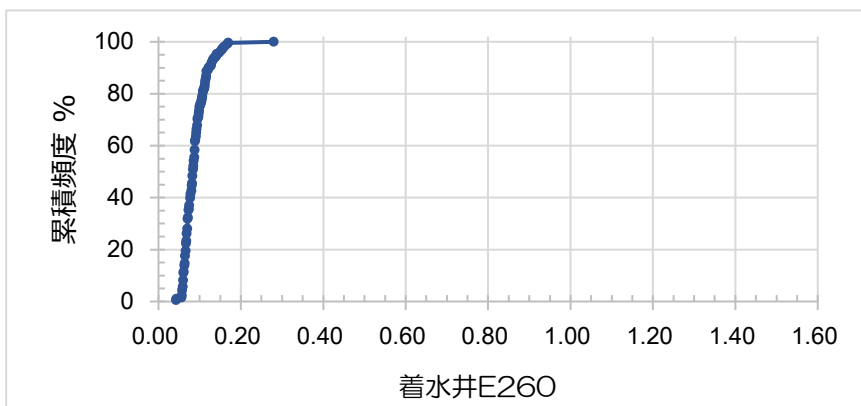
いずれの事例においても、各水源の特徴にあった処理を実施することにより、ろ過水の濁度、紫外線吸光度は現行の紫外線処理における水質要件を満足している。

(注) 連続計器データには、メンテナンス等により、正確な値を表示していない時間帯が一部に存在する可能性がある。

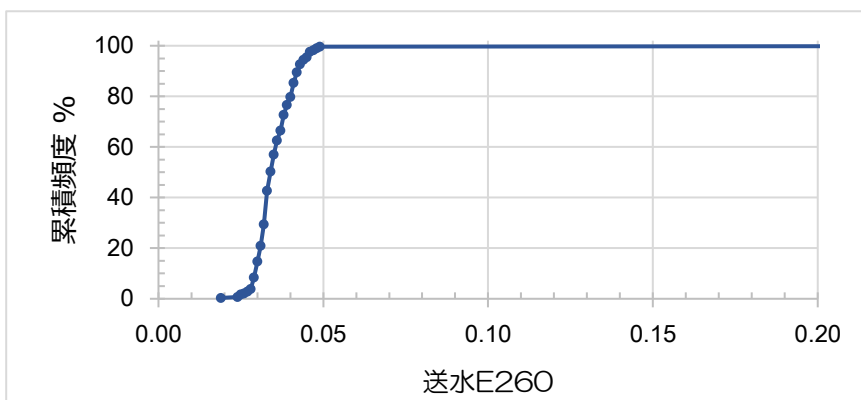
1. Kis 浄水場





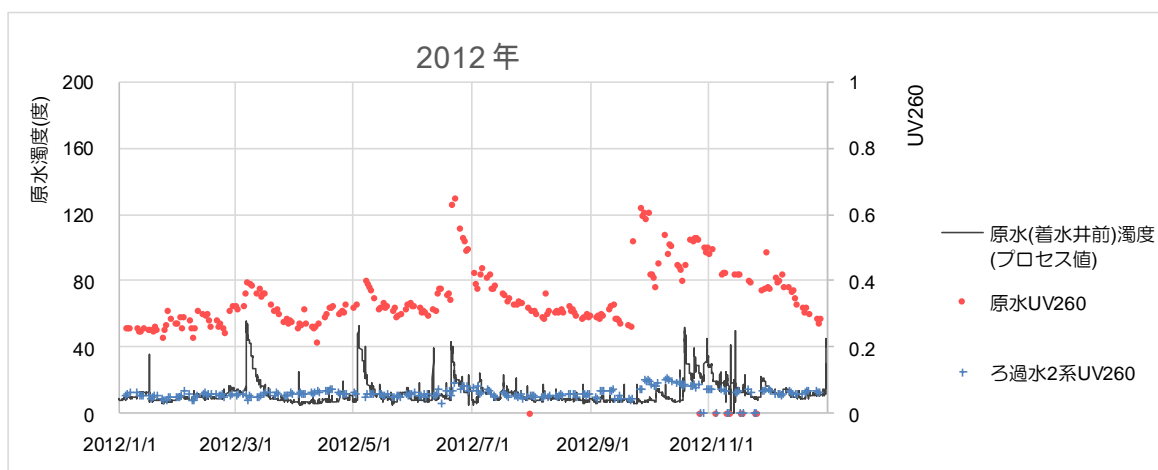
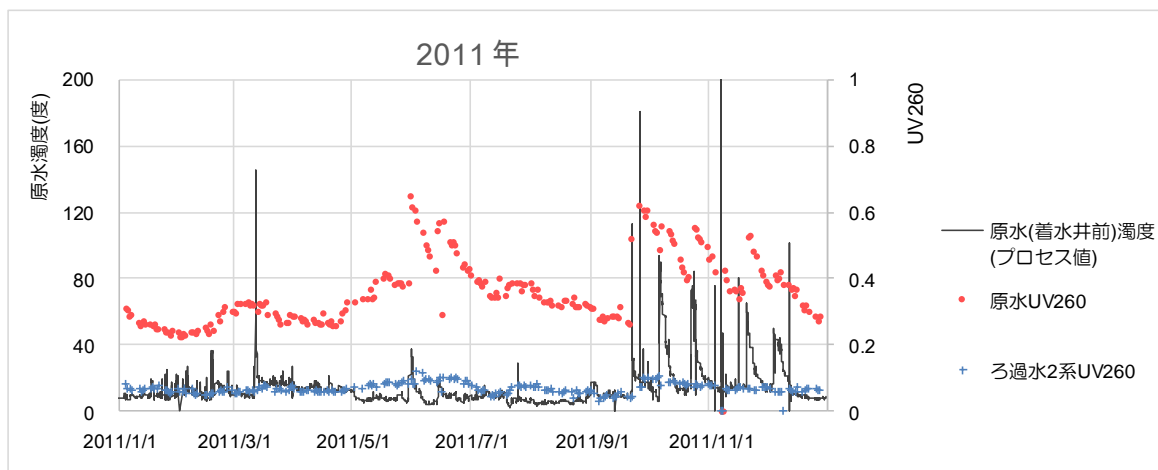
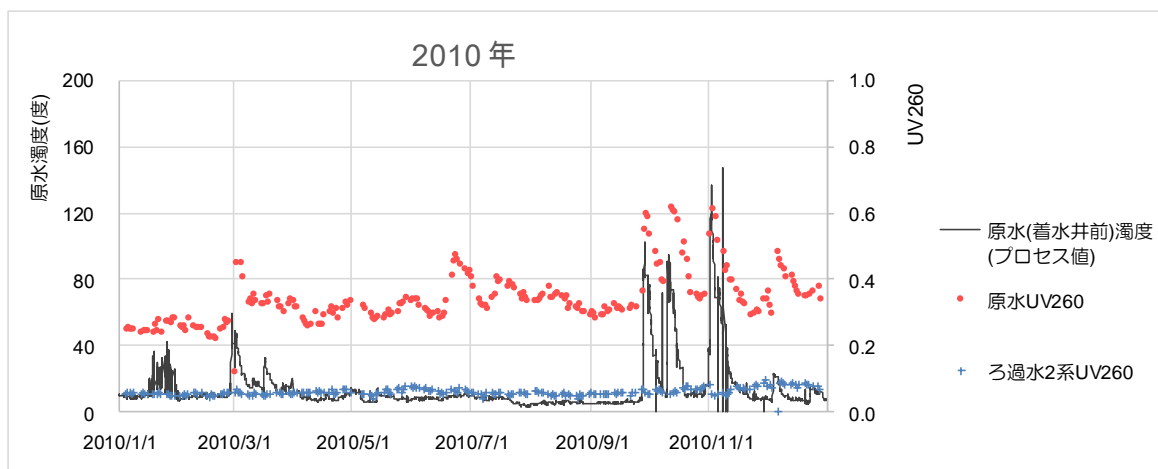


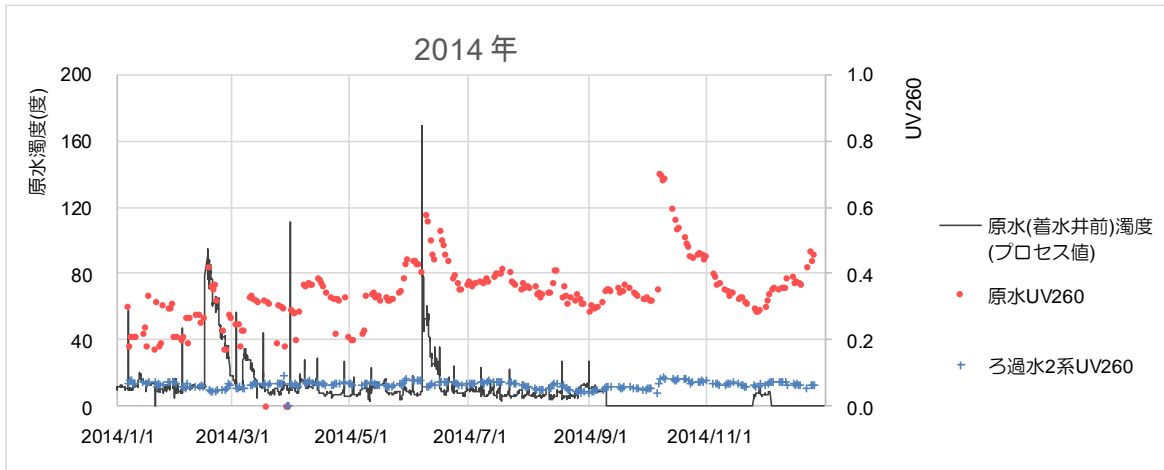
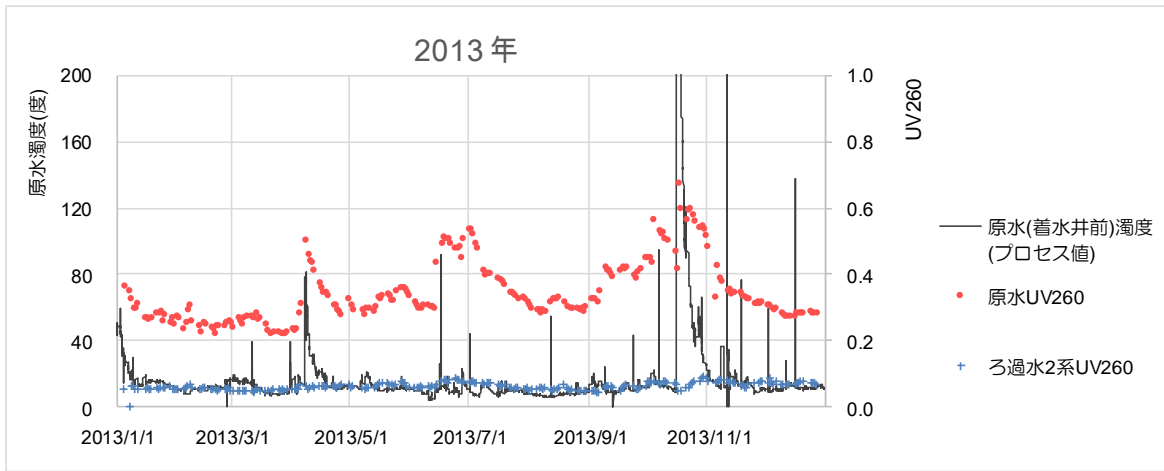
(データ数 : 262)

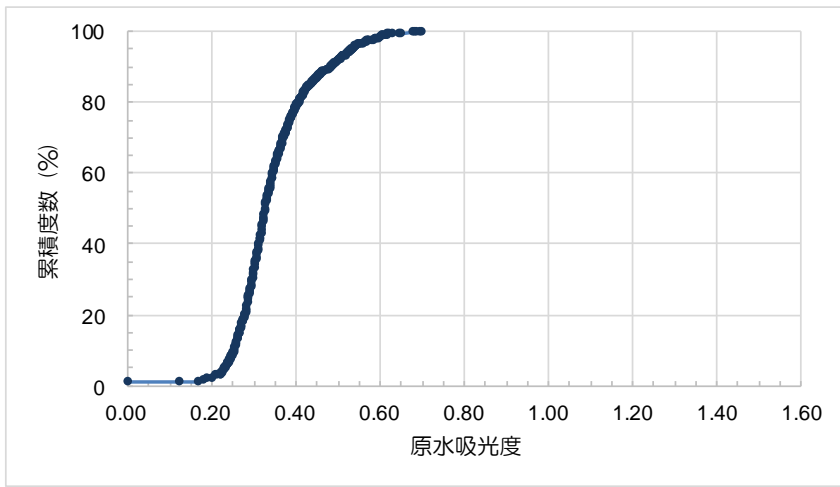


(データ数 : 337)

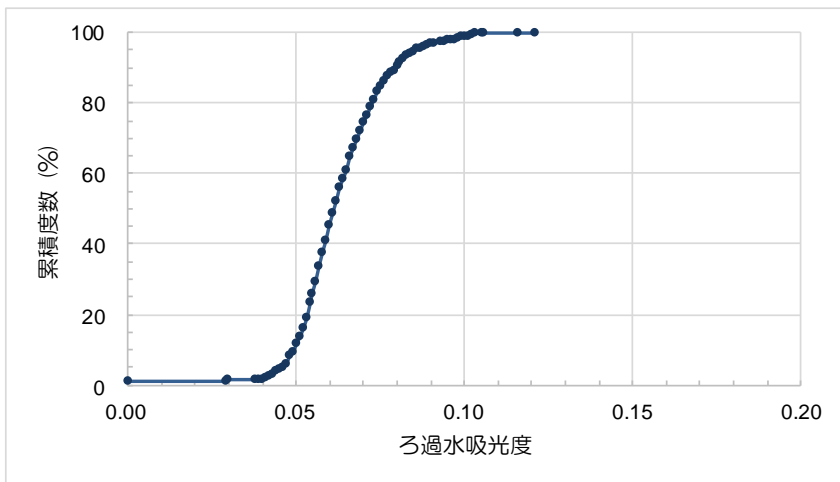
2. Chk 浄水場データ





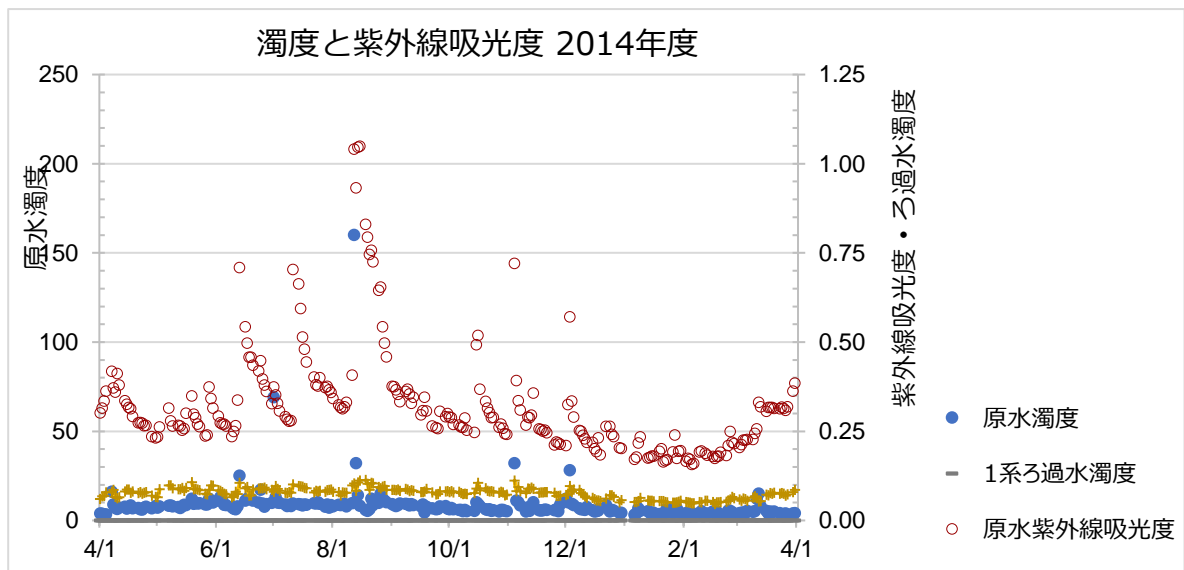
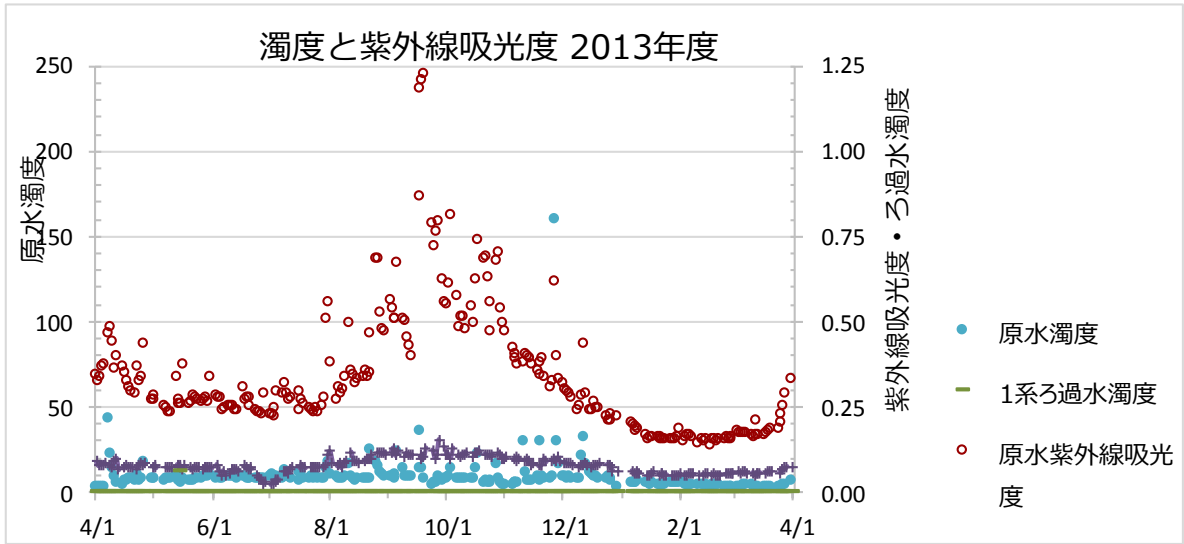


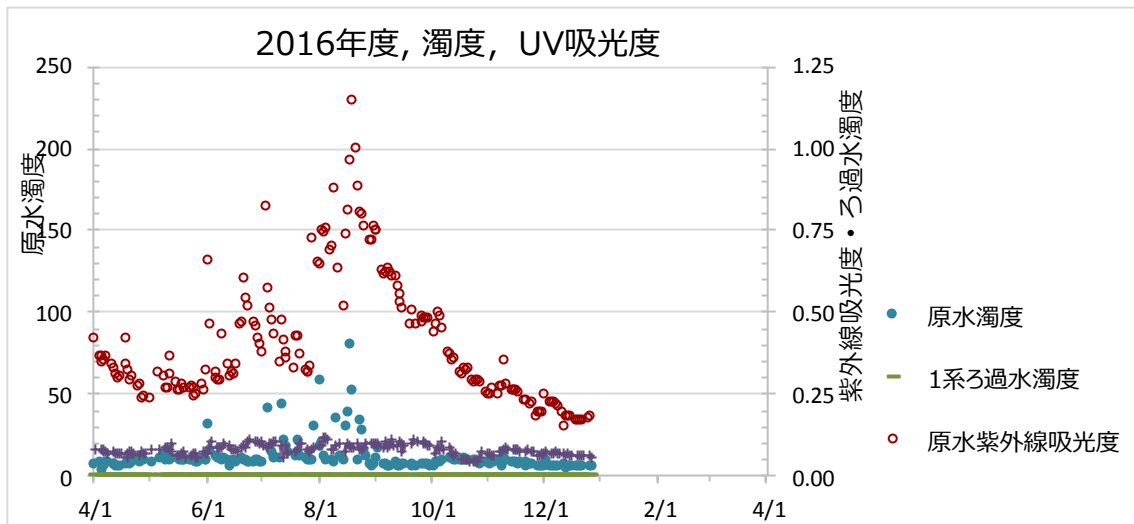
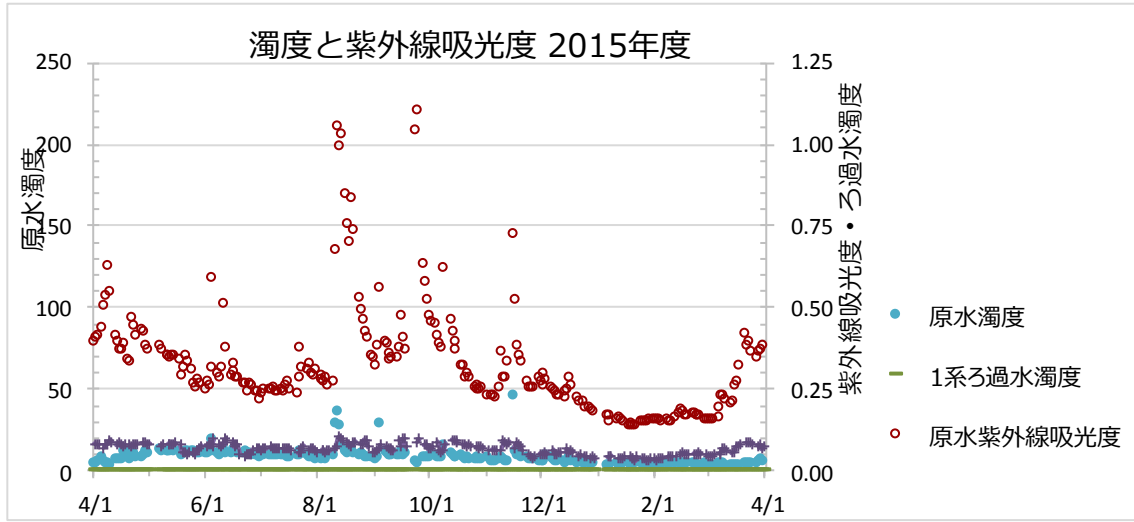
(データ数 : 1214)

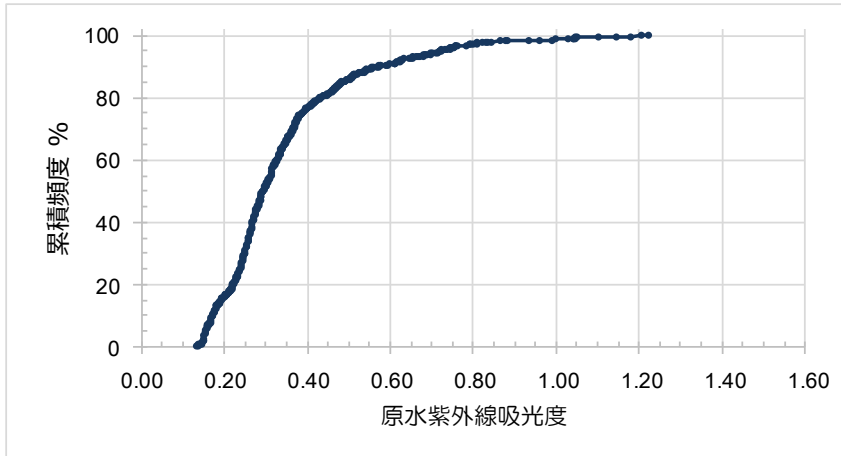


(データ数 : 1219)

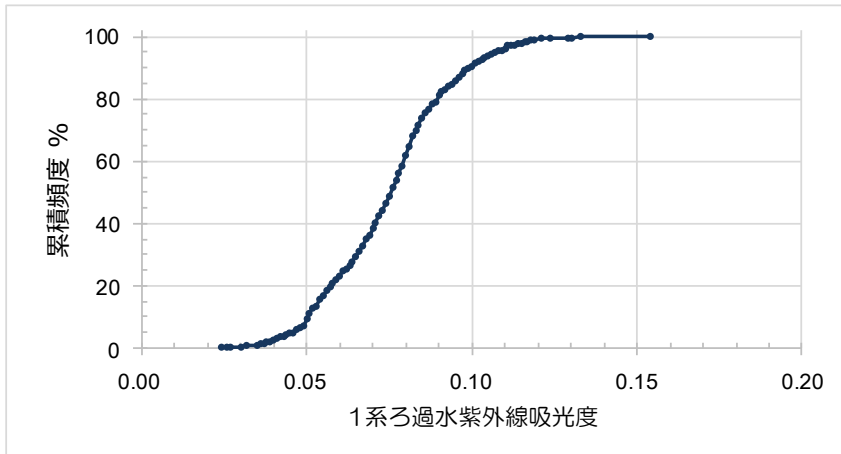
3. Ak 浄水場





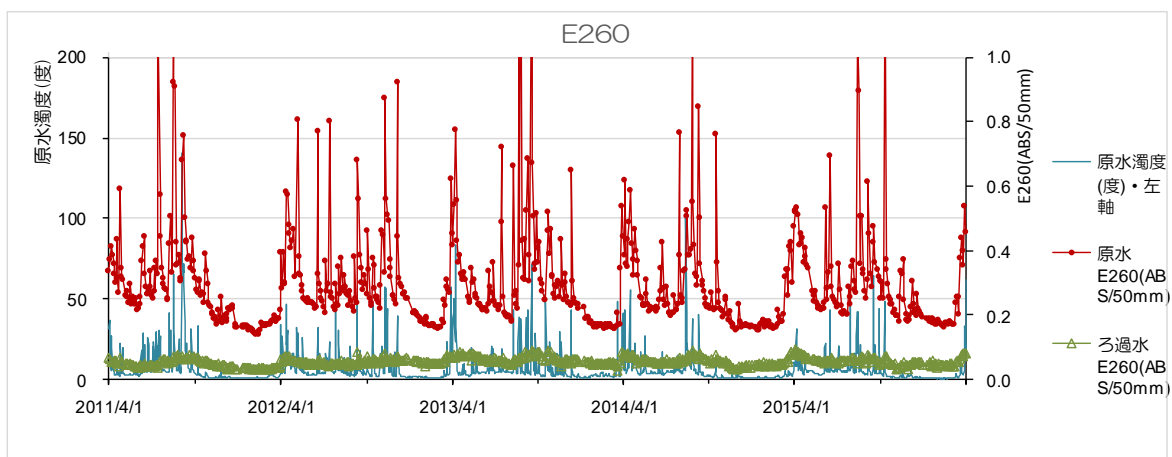
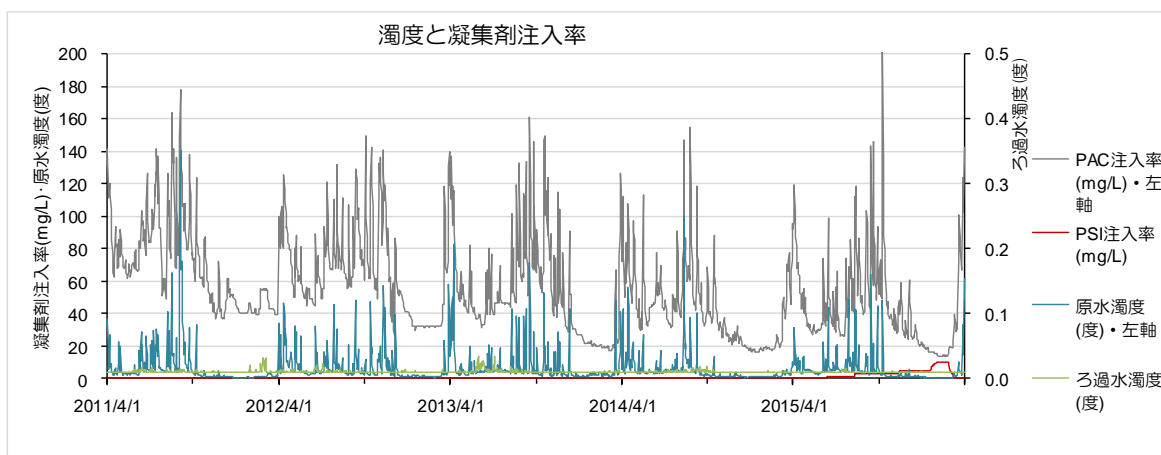


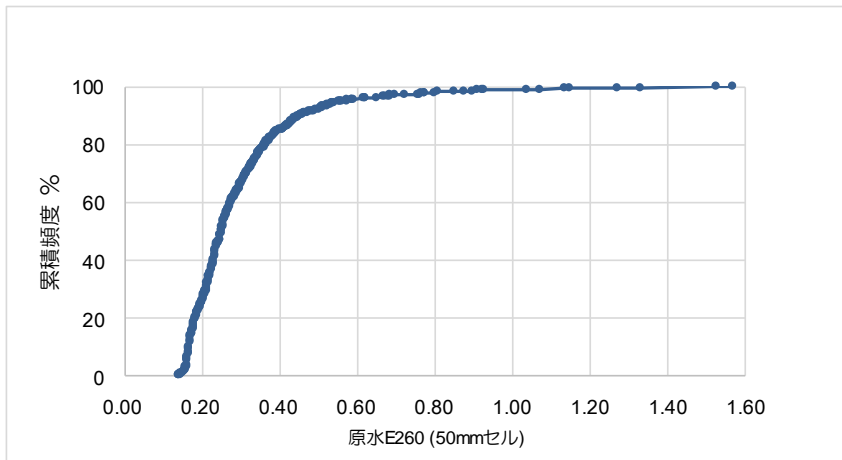
(データ数 : 915)



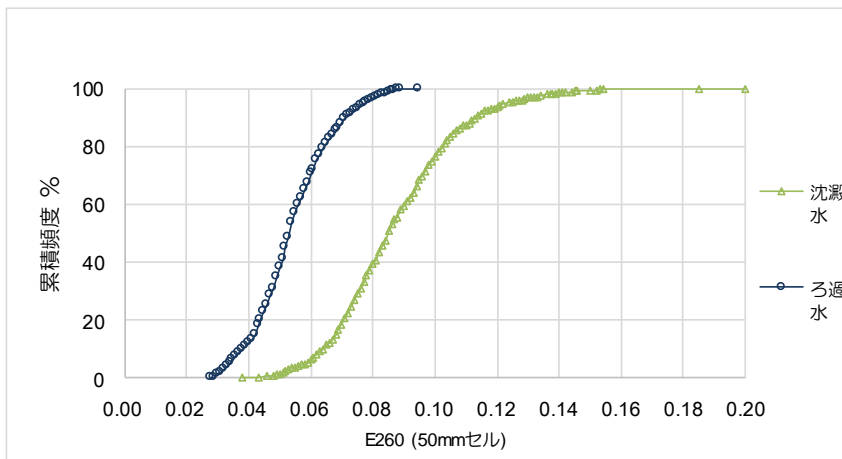
(データ数 : 915)

4 Khr 浄水場





(データ数 : 752)



(データ数 : 752)